

# Multi LABELIST V5 用途別説明資料

2020年11月9日

株式会社サトー

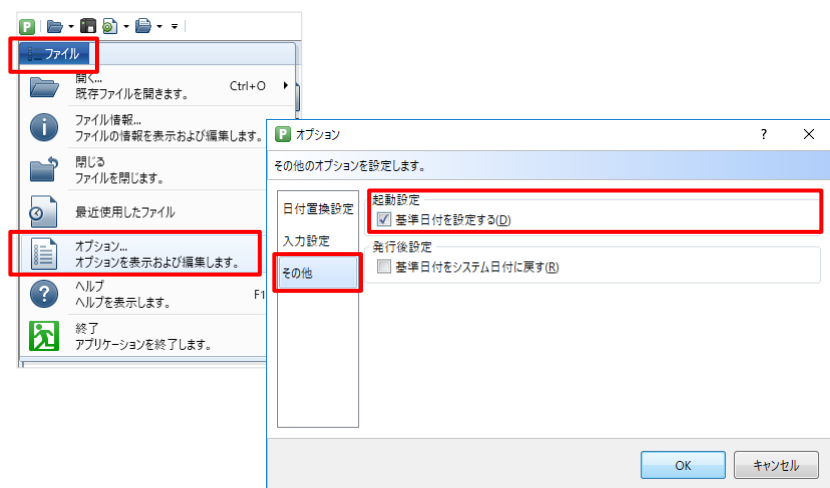
## 目次

1.	ラベル発行を開始する時に基準日付を表示して日付の確認を促したい .....	2
2.	基準日付に時間を表示したい .....	3
3.	発行データを保存しているが呼出した際に日付の項目を今日の日付に変更するのが面倒 .....	4
4.	消費期限の表示を「日付」と「別途記載」を自動的に切り替えたい .....	5
5.	日付入力の項目で過去の日付や 11 日以上先の日付を発行できないようにしたい .....	6
6.	基準日付の変更可能な範囲を制限し誤った日付を発行できないようにしたい .....	7
7.	自動改行を使用した時に、単語の途中では改行したくない .....	8
8.	自動改行を使用した時に、好きな位置で改行したい .....	9
9.	ビタミン記号を簡単に印字したい .....	10
10.	プリセット登録や発行で入力チェックを行う .....	11

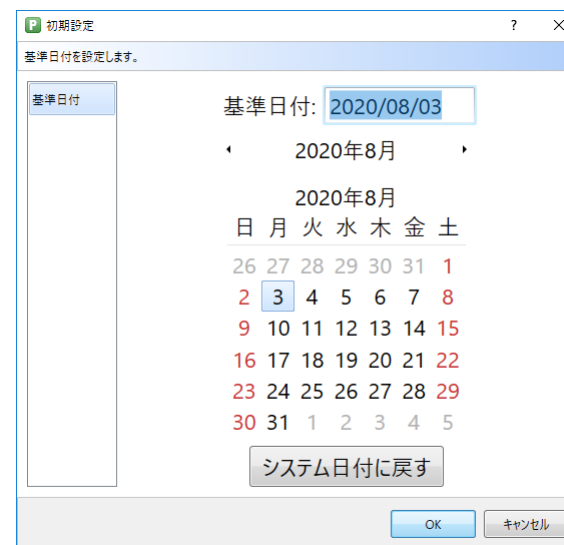
## 1. ラベル発行を開始する時に基準日付を表示して日付の確認を促したい

ML プリントを起動した際に基準日付の設定画面を表示するよう設定できます。

1. MLプリントを起動したら画面左上の[ファイル]→[オプション]→[その他]を開いて起動設定の[基準日付を設定する]にチェックを付けます。



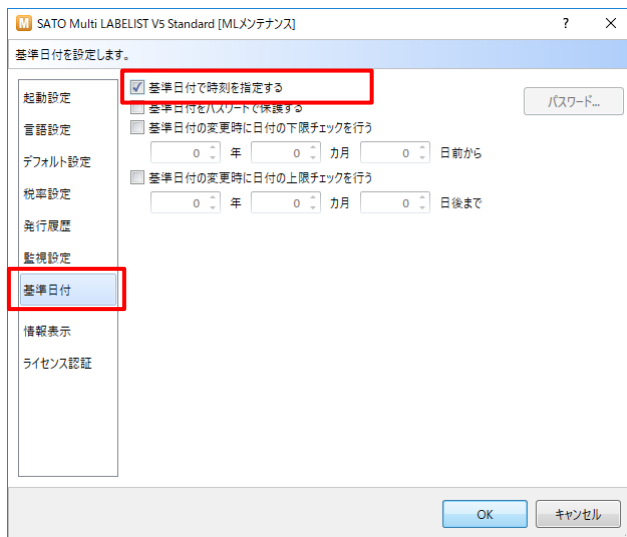
この設定により起動時に基準日付の設定画面が表示されるようになります。



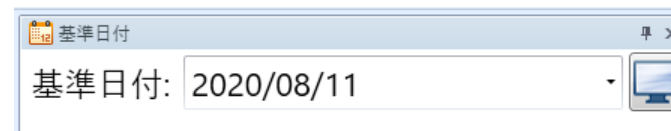
## 2. 基準日付に時間を表示したい

通常は日付のみの表示ですが ML メンテナンスの設定により基準日付に時刻も表示するよう設定できます。(Ver.5.8.5.0 に対応)

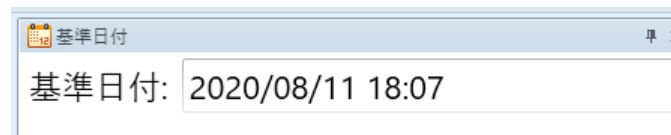
### 1. ML メンテナンスを起動したら画面左の[基準日付]を開いて [基準日付で時刻を指定する]にチェックを付けて[OK]で閉じます。



この設定により基準日付の欄に・・・



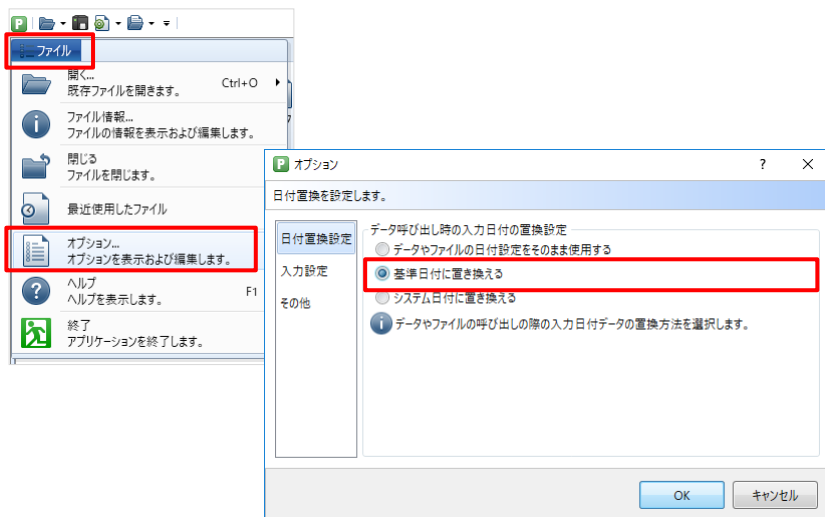
時刻が表示されるようになります。



### 3. 発行データを保存しているが呼出した際に日付の項目を今日の日付に変更するのが面倒

保存データを呼び出した際に、日付入力の項目を今日の日付に置き換えるよう設定できます。

1. MLプリントを起動したら画面左上の[ファイル]→[オプション]を開いて[データ呼び出し時の入力日付の置換設定]で[基準日付に置き換える]を選択します。



このデータを保存して次回呼出した際には…

フィルタ		クリア
↑	(すべて)	(すべて)
No.	発行枚数	製造日
1		2020年5月26日
*		

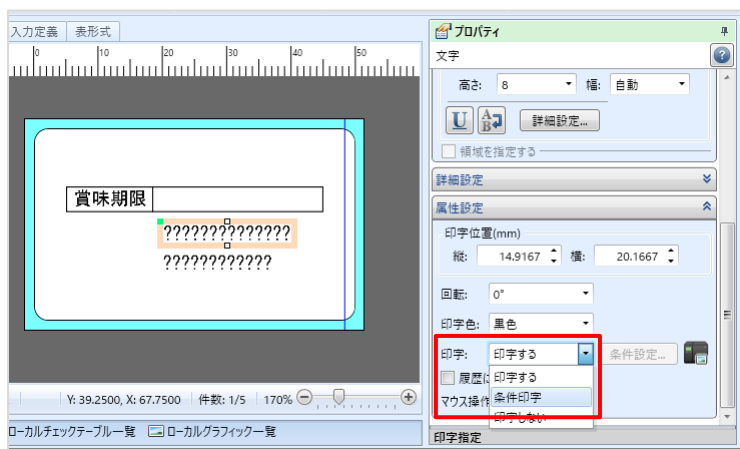
基準日付に自動的に置き換えされます。

フィルタ		クリア
↑	(すべて)	(すべて)
No.	発行枚数	製造日
1		2020年8月11日
*		

## 4. 消費期限の表示を「日付」と「別途記載」を自動的に切り替えたい

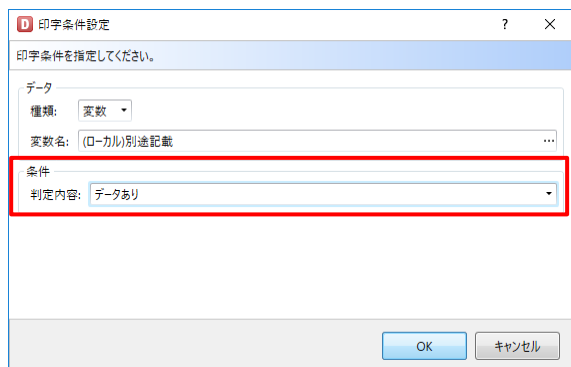
「条件印字」機能を使用することで「別途記載」を指定した際に日付を印字しないように設定できます。（「別途記載」が未入力の場合は日付を印字する。）

1. ML デザインで日付印字と別途記載印字の変数とオブジェクトをそれぞれ作成します。
2. 各オブジェクトのプロパティウィンドウの[属性設定]→[印字]の項目で[条件印字]を選択します。

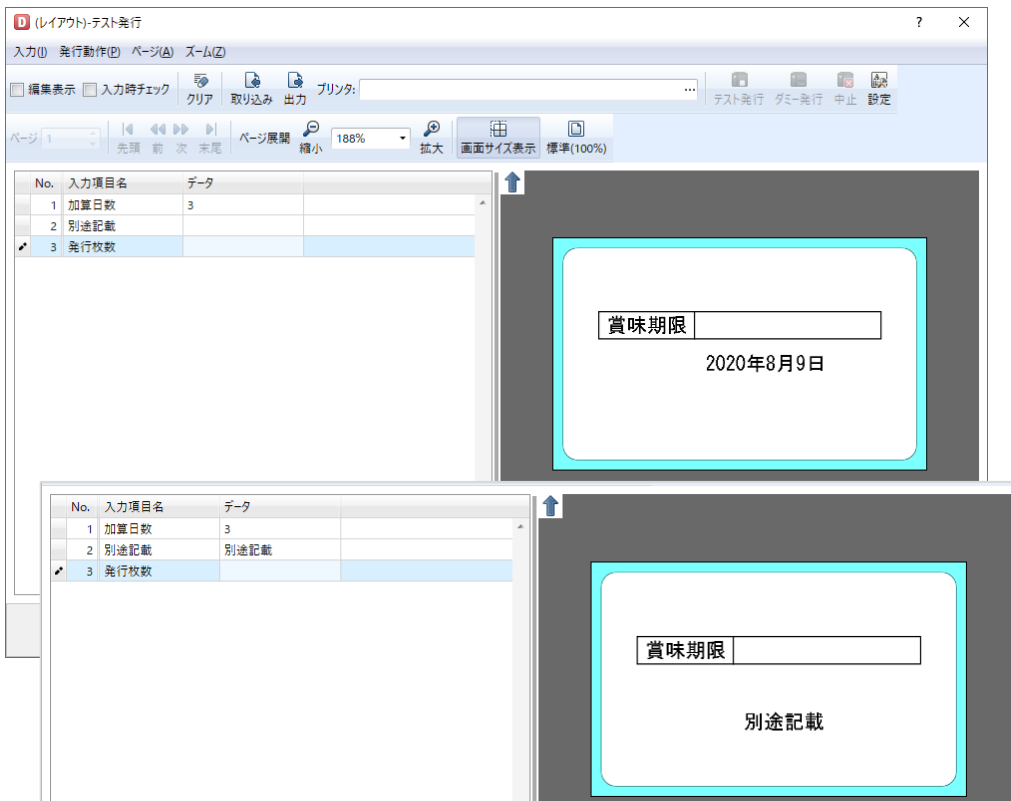


3. [印字条件設定]が開いたら[変数名]に「別途記載」の変数を選択します。

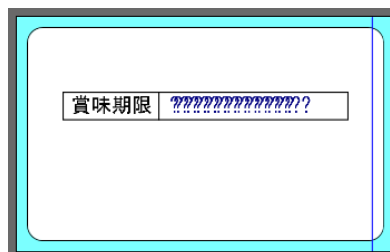
4. 日付印字の場合は別途記載が未入力の場合に印字するので[判定内容]は[データなし]を指定します。別途記載のオブジェクトには[データあり]を指定します。



5. テスト発行で確認します。  
「別途記載」が未入力の場合は日付が表示されています。  
「別途記載」に入力されている場合は日付が消えています。



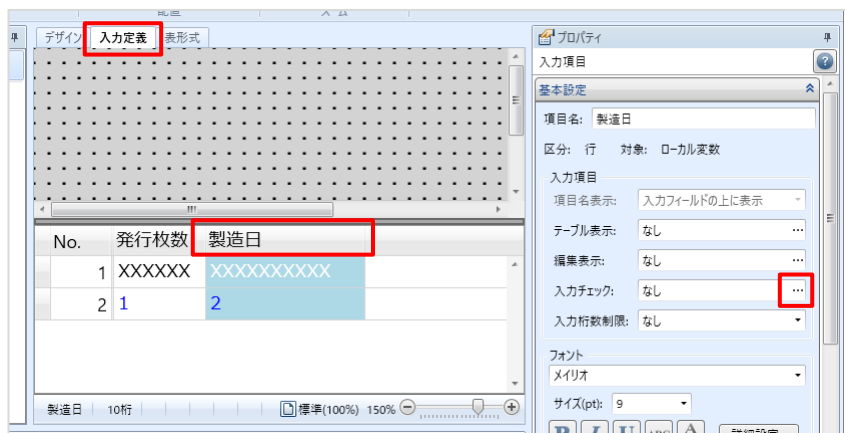
6. デザイン画面で 2 つのオブジェクトを重ねて配置します。



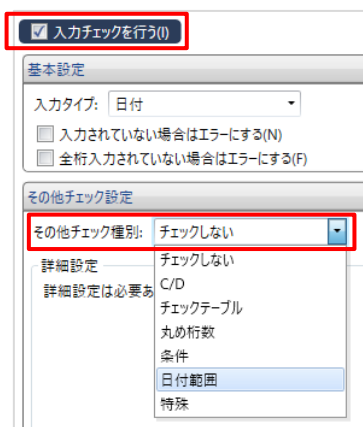
## 5. 日付入力の項目で過去の日付や 11 日以上先の日付を発行できないようにしたい

入力チェックの日付範囲の設定を行うことで、指定した範囲外の日付が入力された際にエラーにすることが可能です。誤った日付でのラベル発行を防ぎます。

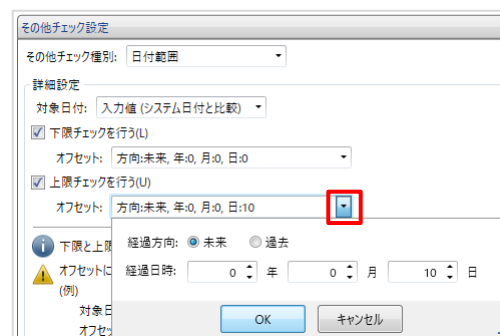
1. MLデザインで[入力定義]の画面を表示し、日付入力の項目を選択してからプロパティウィンドウの[入力チェック]の右側にある「…」をクリックします。



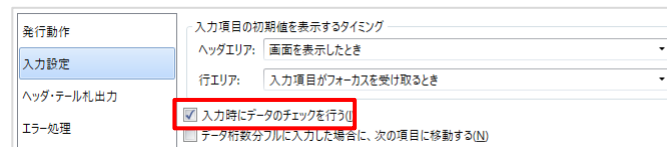
2. 入力チェックの画面が表示されたら[入力チェックを行う]にチェックを付け、[その他チェック種別]で[日付範囲]を選択します。



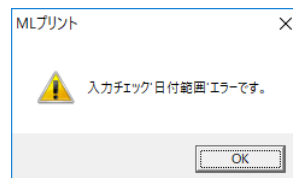
3. [詳細設定]では[対象日付]で[入力値 (システム日付と比較)]を選択します。過去の日付を許可しない場合は「下限チェックを行う」にチェックを付けます。オフセットは変更せず年、月、日を「0」のままにします。11 日以上先の日付を許可しない場合は「上限チェックを行う」にチェックを付け、[▼]をクリックして[経過日時]の日に「10」を設定します。



4. [発行動作]の設定では[入力設定]で[入力時にデータのチェックを行う]にチェックします。



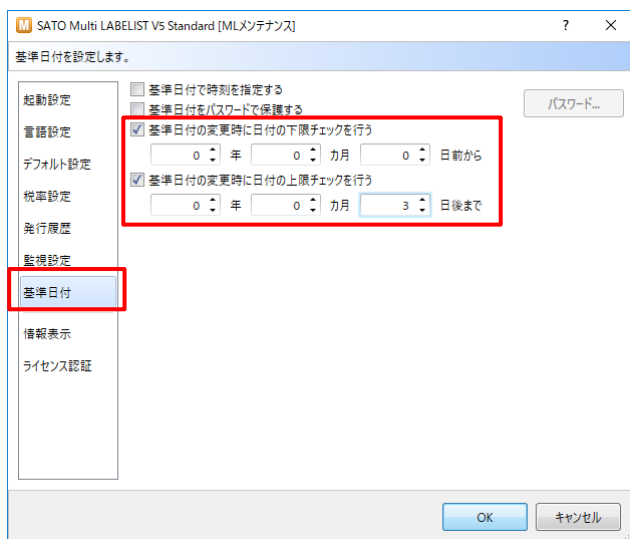
発行画面で範囲外の日付を入力して Enter キーで確定するとエラーメッセージが表示されます。Enter キーを押下せずに発行ボタンを押した場合も表示されます。



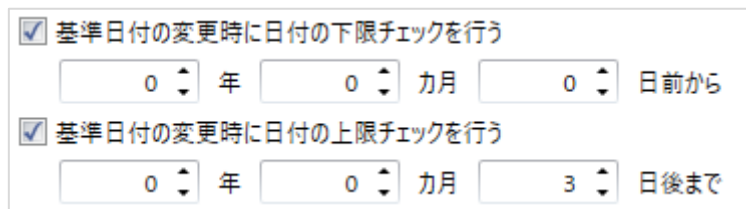
## 6. 基準日付の変更可能な範囲を制限し誤った日付を発行できないようにしたい

基準日付の変更可能な範囲を設定することができます。消費期限ラベルの事前発行などで基準日付を変更する際に、設定した範囲外の日付が選択された際にエラーにすることが可能です。(Ver.5.9.0.0で対応)  
誤った日付でのラベル発行を防ぎます。

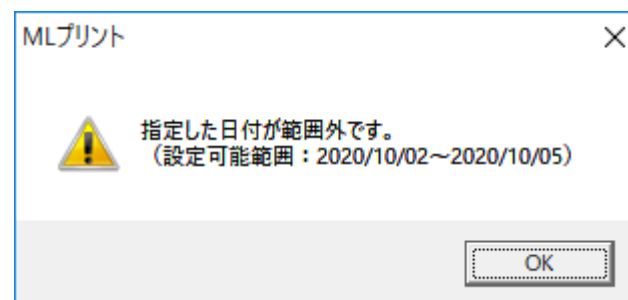
1. MLメンテナンスを起動したら画面左の[基準日付]を開いて[基準日付の変更時に日付の下限チェックを行う]と[基準日付を開いて[基準日付の変更時に日付の上限チェックを行う]にチェックを付けて設定します。



2. 例として当日から3日後までの変更を許可する場合は[下限チェックを行う]にチェックを付け、年、月、日を「0」のままにします。  
[上限チェックを行う]にチェックを付け、日に「3」を設定します。



発行画面で基準日付の設定を開き、設定範囲外の日付を指定すると警告メッセージが表示されます。



基準日付の表示は変更されますが、発行指示を行った際にも警告メッセージが表示され発行することはできません。

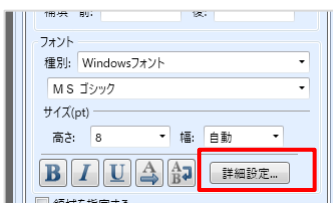


## 7. 自動改行を使用した時に、単語の途中では改行したくない

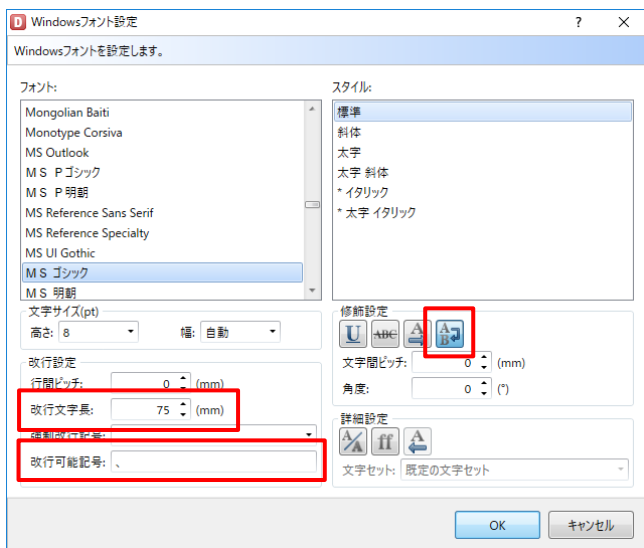
原材料名など長い文章で自動改行機能を使用した際に、単語が改行位置にかかった場合に単語の途中で改行せずに単語の手前で改行するように設定することが可能です。（フォント種別は「Windows フォント(WPF)」を使用ください。）  
読みやすい改行印字が可能です。

### 1. ML デザインで入力変数と文字オブジェクトを作成します。

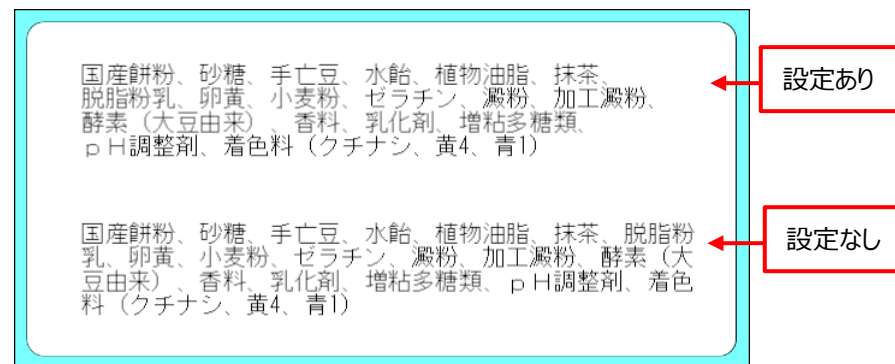
### 2. オブジェクトのプロパティウィンドウの[基本設定]→[フォント]の項目で[詳細設定...]を選択します。



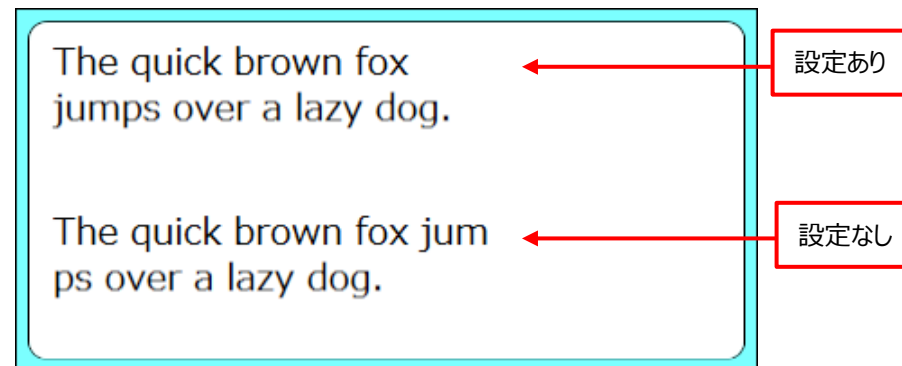
### 3. [修飾設定]で[改行]アイコンを有効にし、[改行設定]で[改行文字長]と[改行可能記号]を設定します。



[改行可能記号]で「,」を設定すると、原材料表示で原材料名の途中で改行されません。



英文の場合に[改行可能記号]で「 」(半角スペース)を設定すると、英単語の途中で改行されません。

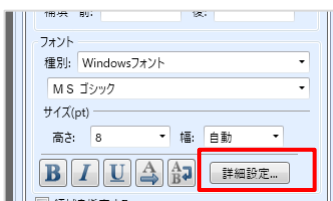


## 8. 自動改行を使用した時に、好きな位置で改行したい

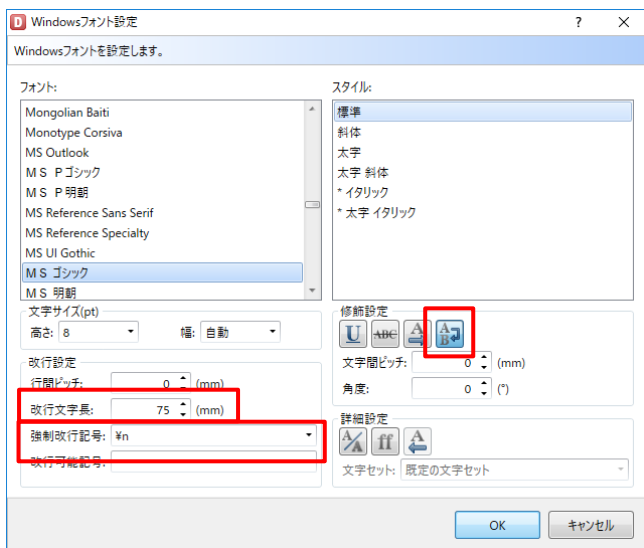
説明文など長い文章で自動改行機能を使用した際に、指定した位置で改行するように設定することが可能です。行の末尾にスペースを入れて調整する必要がありません。

1. ML デザインで入力変数と文字オブジェクトを作成します。

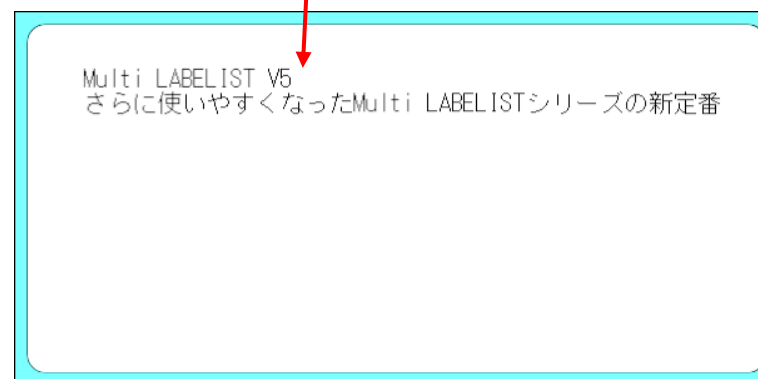
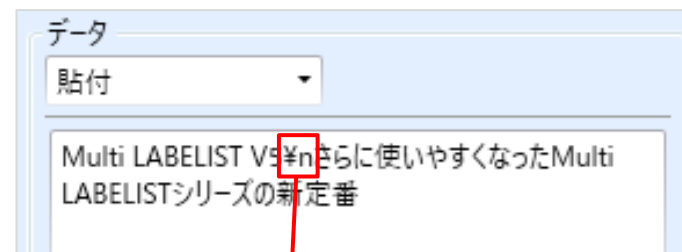
2. オブジェクトのプロパティウィンドウの[基本設定]→[フォント]の項目で[詳細設定...]を選択します。



3. [修飾設定]で[改行]アイコンを有効にし、[改行設定]で[改行文字長]と[強制改行記号]を設定します。



[強制改行記号]で「¥n」と設定すると、入力値の中で「¥n」が改行に変わります。



[強制改行記号]の指定は「¥n」と「/」の選択になっていますが、任意の文字を直接入力することも可能です。

## 9. ビタミン記号を簡単に印字したい

ビタミン記号の「ビタミン B<sub>1</sub>」など小さい数字を指定する方法として Windows フォントを使用し数字を変換することで簡単に印字可能です。外字登録など難しい操作は必要ありません。

### 【貼付文字の場合】

1. 「下付き文字」に対応している日本語 Windows フォントを使用します。「ビタミン B<sub>1</sub>」と表現したい場合、「ビタミン B」までは通常通り入力し、「1」の部分は「1」と入力し、変換結果に出てくる「<sub>1</sub>(環境依存)」を選択します。  
※類似のものに「<sup>1</sup>(環境依存)」「上付き文字)もあります。

商品名: 塩レモンキャンディ	
名 称	キャンディ
原材料名	砂糖、水飴、食塩／甘味料(キシリトール)、クエン酸、ビタミンC、糊料(アラビアガム)、香料、ビタミンB <sub>1</sub> 、ナイアシン
内 容 量	80g(個装紙込み)

### 【可変文字の場合】

1. 発行用のデータを「B<sub>1</sub>」として csv ファイルを作成し取り込むことが可能です。但し、データの保存の際に「Unicode」形式で保存する必要があります。(発行画面での直接入力も可能です。)

名前を付けて保存

PC > デスクトップ > Label

ファイル名(N): data.csv

ファイルの種類(I): テキスト文書 (\*.txt)

文字コード(E): Unicode

保存(S) キャンセル

商品名: 塩レモンキャンディ	
名 称	キャンディ
原材料名	砂糖、水飴、食塩／甘味料(キシリトール)、クエン酸、 <b>ビタミン<sub>1</sub></b> 、糊料(アラビアガム)、香料、 <b>ビタミンB<sub>1</sub></b> 、ナイアシン
内 容 量	80g(個装紙込み)

標準日付: 2020/10/06

商品名: 塩レモンキャンディ

名 称	キャンディ
原材料名	砂糖、水飴、食塩／甘味料(キシリトール)、クエン酸、 <b>ビタミン<sub>1</sub></b> 、糊料(アラビアガム)、香料、 <b>ビタミンB<sub>1</sub></b> 、ナイアシン
内 容 量	80g(個装紙込み)
賞味期限	枠外下部に記載
保存方法	直射日光を避け常温で保存して下さい。
販 売 者	株式会社サトー製菓 東京都目黒区下目黒〇〇 製造固有記号は別途記載

## 10. プリセット登録や発行で入力チェックを行う

プリセット登録時や発行時のデータ入力で入力チェックを行えます。(Ver.5.7.1.0 に対応)  
誤ったデータ登録を防ぎます。

1. ML デザインで[入力定義]の画面を表示し、日付入力の項目を選択してからプロパティウィンドウの[入力チェック]の右側にある「…」をクリックして入力チェックを開きます。

2. 入力チェックの画面が表示されたら[入力チェックを行う]にチェックを付け、入力チェックの条件を選択します。

No.	JANコード	発行枚数
1	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXX
2	1	

**D 入力チェック**

最初に入力チェックの有無を選択します。入力チェックを

入力チェックを行う(I)

基本設定

入力タイプ: 数字

入力されていない場合はエラーにする(N)

全桁入力されていない場合はエラーにする(F)

上図では「JANコード」に対して下記のチェックを行っています。

- ・数字のみ
- ・未入力時エラー
- ・全桁入力チェック

プリセット登録画面／プリセット発行画面で入力チェックが行われます。

【数字のみチェック】

項目名	入力値
X JANコード	abcdefghijkl
発行枚数	
カット枚数	

呼び出しキー: 0001

MLプリセット登録

⚠ JANコードの入力形式が正しくありません。

OK

【未入力時エラー】

項目名	入力値
X JANコード	
発行枚数	
カット枚数	

呼び出しキー: 0001

MLプリセット登録

⚠ 未入力です。

OK

【全桁入力チェック】

項目名	入力値
X JANコード	49123456789
発行枚数	
カット枚数	

呼び出しキー: 0001

MLプリセット登録

⚠ 全桁入力されていません。

OK